

新沼田市政がスタート

暮らしを実感できる文化的生活
豊かな等身大の沼田を目指して



横山市長初登庁

5月12日(月)、先の沼田市長選挙で初当選を果たした横山公一市長が初登庁しました。五月晴れのこの日、午前8時20分に本庁舎前駐車場に到着すると、待ちかねていた多くの市民や支持者、市職員ら約300人が横山市長を温かい拍手で出迎えました。

横山市長は女性職員から歓迎の花束を受け取ると正面玄関前で、「明るく夢のある沼田市を創るために、そして幸せ度ナンバーワンの沼田市を創るために全力で頑張りたい」と力強く市政運営の決意を述べました。

その後の就任式で横山市長は、市職員一人一人をオーケストラの一員にたとえ、「各部署できれいな音色を出し、調和のとれたハーモニーになるよう各自職責を果たしてほしい」と職員に訓示しました。



就任のあいさつ

周辺の山々の緑も深まり、大
自然の息吹がより感じられる季
節となりました。市民の皆さま
におかれましては、それぞれの
お仕事にご精励のことと拝察申
し上げます。

市制施行60周年を迎え、また
来年2月には、白沢村、利根村
と合併して10年を迎えるこの記
念すべきときに、不肖私、皆さ
まの力強いご支援をいただき、
沼田市政の重責を担うこととな
り、5月10日に第16代の沼田市
長に就任いたしました。

もとより微力ではありますが、
皆さまのご期待に応えられるよ
う「暮らしを実感できる文化的
生活」、「豊かな等身大の沼田」を
目指し、全身全霊を傾注する覚
悟であります。

市政運営に当たりましては、
行政との車の両輪であります市
議会の絶大なるご指導、ご協力
をお願いするとともに、専門的
分野の方はもちろん、多くの市
民の皆さまの意見を取り入れる
「市民構想会議」を設置し、その
意見を基に、市政運営を大胆に
決断し、確実に実行してまいり

たいと思います。

喫緊の課題が山積する本市に
ありまして、特にグリーンベル
21の再生につきましては、まさ
に「まったなし」という感じがた
します。さらに、少子高齢・人
口減少社会への対応、地域産業
の振興による雇用の創出、農産
物のブランド化と6次産業化へ
の取り組み、女性の社会参画の
拡大と子育て・教育環境の充
実、さらに、安全・安心で人に
やさしい福祉環境の整備などを
進めていく必要があると考えて
います。これらの対応を図るた
めに、市民の皆さまと行政が力
を合わせて諸施策を推進してい
くつもりです。

歴代の市長が築いてこられた
数々のご功績を汚すことなく、
沼田の素晴らしい歴史文化、自
然環境などを再発見するととも
に、眠っている特色や資源を発
掘し、沼田市に住み続けたい、
住んでいて良かったと思えるま
ちづくりを進めてまいりたいと
思います。

皆さまのご支援、ご協力をよ
ろしくお願いいたします。

沼田市長 横山公一

星野已喜雄市長 3期12年間大変お疲れさまでした

退任のあいさつ

平成14年就任以来、3期12年
間、市民の皆さまには一方なら
ぬご支援、ご協力を賜り、衷心
から感謝を申し上げます。

顧みますと、西田前市長から
引き継いだ第四次総合計画、そ
して第五次総合計画を基に、公
共施設の耐震診断・耐震改修、
防犯灯のLED化などの安全・
安心施策、子どもの医療費無料
化、第3子以降の保育園・幼稚
園の保育料の無料化などの子育
て支援、中心市街地の活性化、



観光農業の推進などに取り組み
ほか、全国育樹祭の誘致、白沢
村・利根村との合併、新宿区と
のカーボンオフセット事業、椎
坂トンネル開通への対応、上水
道水利権の無償確保、そして経
常収支比率や実質公債費比率の
低減、職員数の削減などによる
財政の健全化に取り組んでまい
りました。

中でも、皇太子殿下のご臨席
を仰ぎ開催された全国育樹祭、
利根沼田は一つの考えから始
まった合併協議、利根沼田地域
住民の悲願であった椎坂トンネ
ルの開通は、脳裏に深く焼き付
いております。また、非常に厳
しい状況にあった財政の健全化
については、努力、改善により、
大きな成果を得ることができた
ものと思います。

また、平成23年3月に発生し
ました東日本大震災による放射
能汚染など、さらには今年2月
の豪雪などにつきましても、全
身全霊、渾身の力を振り絞り、
地域に密着した現地現場主義の

精神で対応することができまし
た。

これを支えていただいたのは、
ひとえに、市民の皆さまの深い
ご理解とご協力の賜とあらため
て心から厚く御礼申し上げます。
市制施行60周年を迎え、また、
来年2月には白沢村、利根村と
合併して10年を迎えます。課
題山積の本市であります。新
市長を中心これからのさらなる
飛躍を願ってやみません。

今後は、一人の市民として本
市発展のため、ご協力を惜しま
ぬ所存ですので、変わらぬご厚
誼を賜りますようお願い申し上
げ、退任のごあいさつといたし
ます。

前沼田市長 星野已喜雄



5月9日(金)、中央公民館ホールで3期12年
間の長きにわたり市政をけん引してきた星野已
喜雄市長ら退任式が厳粛に行われました。退任
のあいさつで星野市長は12年間の市政運営を振
り返りながら、「財政状況が改善され、いよいよ
沼田市は新しい時代に向かい始めている。皆さん
には公務員として公正公平の命題の下で、明日
の沼田市の発信力のために大いに活躍してほしい」と職員を激励しました。

退任となる午後5時15分、本庁舎正面玄関前
で同日付で退任した林義夫副市長や宇敷重信教
育長、木暮茂白沢町振興局長、山口芳久利根町
振興局長と共に星野市長は、「別れの場であるが、
再び皆さんと共に利根沼田発展のために頑張る
ための大きなスタートの場としたい」とあいさつ
し、駆け付けた多くの市民や市職員らに見送ら
れながら、慣れ親しんだ市役所を後にしました。

